

2014年3月期 第1四半期 連結決算ハイライト

中期経営計画初年度の第1四半期は、前年同期比増収増益となり順調な出だし

売上高	2,530 億円	4.1%	増収
営業利益	47 億円	2.3%	増益
経常利益	51 億円	24.7%	増益
当期純利益	31 億円	28.5%	増益

損益の状況

(単位:億円)	2013/3期 第1四半期実績		2014/3期 第1四半期実績		前年同期比		2014/3期 通期	
	増減額	増減率	見通し	進捗率	増減額	増減率	見通し	進捗率
売上高	2,430	2,530	100	4.1%	10,500	24.1%		
売上総利益	195	207	12	6.3%	-	-		
販売費・一般管理費	149	160	11	7.6%	-	-		
営業利益	46	47	1	2.3%	190	24.8%		
受取配当金	2	3	1	-	-	-		
利息収支	△ 8	△ 7	1	-	-	-		
持分法損益	△ 0	0	1	-	-	-		
為替差損益	1	9	9	-	-	-		
その他	0	△ 1	△ 1	-	-	-		
営業外収支	△ 5	4	9	-	-	-		
経常利益	41	51	10	24.7%	170	30.3%		
特別利益	2	1	△ 2	-	-	-		
特別損失	△ 4	△ 3	1	-	-	-		
税引前当期純利益	40	49	9	23.2%	-	-		
法人税等及び少数株主利益	16	18	2	-	-	-		
当期純利益	24	31	7	28.5%	60	51.7%		

【売上高】
電子・デバイスセグメントの増収を中心に、全体では増収。

【営業利益】
電子・デバイス、食料セグメントで減益なるも、鉄鋼・素材・プラント、車両・航空セグメントで増益となり、全体では微増。

【経常利益】
為替差益の増加等による営業外収支の良化に伴い、増益。

【当期純利益】
経常利益の良化に伴い、増益。

資産・負債及び純資産の状況

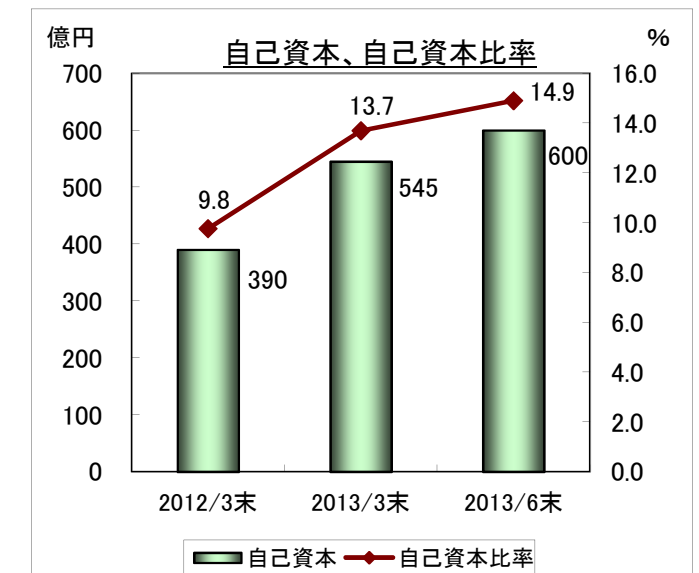
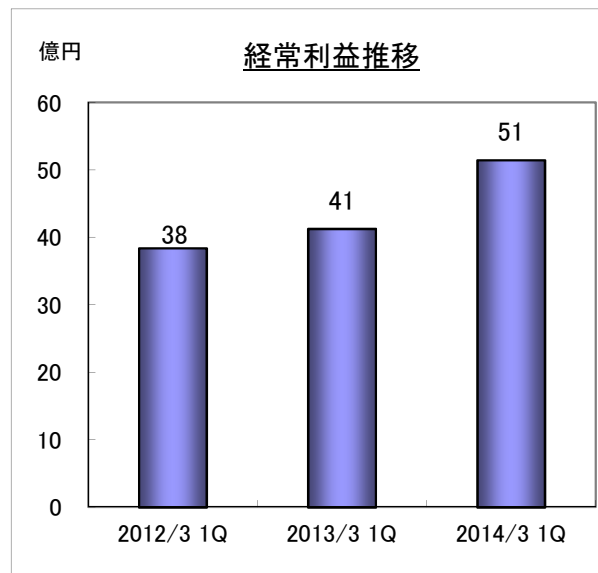
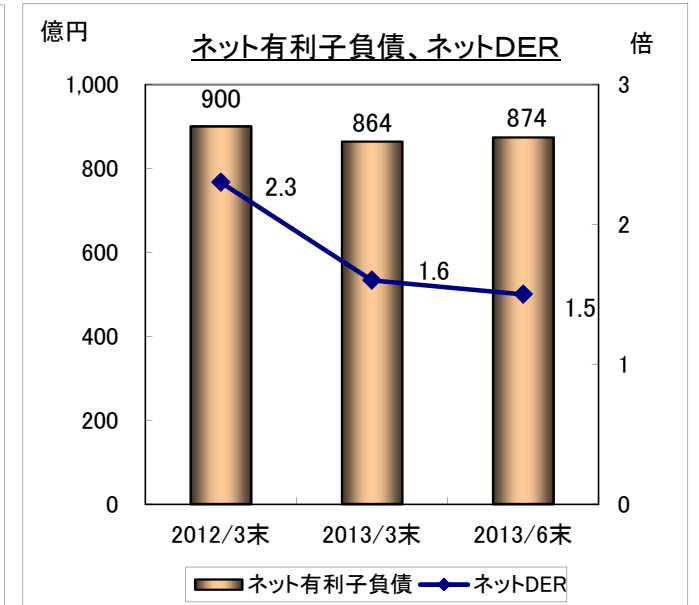
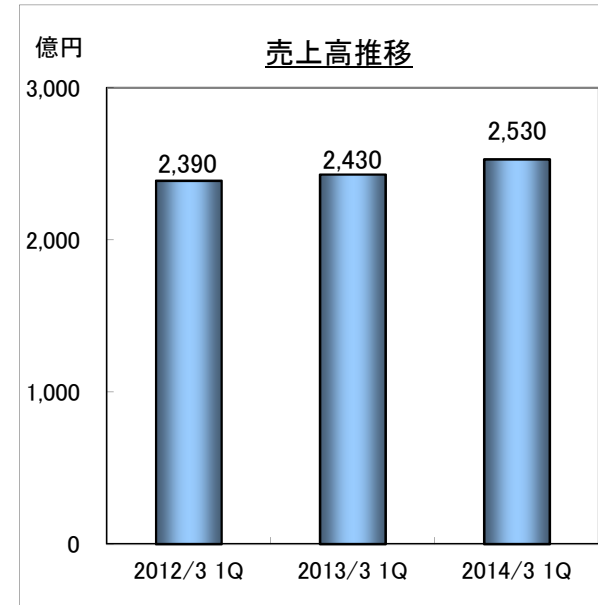
(単位:億円)	2013/3末		2013/6末		2013/3末比	
	増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率
総資産	3,992	4,018	26	0.7%		
グロス有利子負債	1,469	1,459	△ 10	-0.7%		
ネット有利子負債	864	874	10	1.1%		
株主資本	795	826	31	3.9%		
その他の包括利益累計額	△ 250	△ 226	24	-		
少数株主持分	214	218	4	1.8%		
純資産合計	759	818	59	7.7%		
自己資本(注1)	545	600	55	10.1%		
自己資本比率(注2)	13.7%	14.9%	1.2pt良化	-		
ネットDER(注3)	1.6倍	1.5倍	0.1pt良化	-		

【有利子負債】
グロス有利子負債は10億円の減少。ネット有利子負債は現預金の減少により10億円増加。

【純資産】
四半期純利益による利益剰余金の積み上げ等により、59億円増加。純資産から少数株主持分を除いた自己資本は、55億円増加。

上記の結果、自己資本比率は14.9%、ネットDERは1.5倍に改善。

(注1)自己資本=純資産-少数株主持分 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産 (注3)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本



セグメント情報

(単位:億円)	売上高(外部売上高)			営業利益		
	2013/3期 第1四半期	2014/3期 第1四半期	前年同期比 増減	2013/3期 第1四半期	2014/3期 第1四半期	前年同期比 増減
	電子・デバイス	524	621	98	16	12
食料	715	728	13	11	8	△ 3
鉄鋼・素材・プラント	1,040	1,026	△ 14	12	16	4
車両・航空	120	135	15	5	9	4
報告セグメント合計	2,399	2,510	111	44	45	1
その他(含む調整額)	31	20	△ 11	2	2	△ 0
総合計	2,430	2,530	100	46	47	1

【電子・デバイス】増収減益
ICT・モバイルソリューション事業は引き続きスマートフォン市場の好況を受け堅調に推移。携帯電話用電子部品等の電子材料事業は中国市場向け取引を中心に好調。半導体製造装置事業は、企業の設備投資の回復が遅れ低調に推移。

【食料】増収減益
食品・畜産事業においては、円安の環境下、販売価格への転嫁に時間を要しており低調。一方、食糧事業では、安定的な調達の実現や取扱高の増加により堅調に推移。

【鉄鋼・素材・プラント】減収増益
鉄鋼事業は、欧米向け自動車用特殊鋼取引、北米での油井管加工事業が堅調に推移。エネルギー事業は、重油販売が好調、化学品事業は、医薬品原料の輸入取引を中心に順調に推移。プラント事業は、工作機械・産業機械関連取引が低調。

【車両・航空】増収増益
アジア向けの車両ビジネスが全般的に低調に推移する一方、欧米向けの二輪車部品、国内の航空機部品取引が堅調に推移。

* 本資料に記載されている業績予想ならびに将来に関する記述は、当社が発表日現在入手可能な情報および合理的な仮定に基づいた推測を前提としたものであり、実際の業績は様々な要因により本資料に記載されたものと大きく異なる可能性があることにご留意ください。
* 記載の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値が異なる場合があります。